02 まなび応援

取り組みの背景と当社の想い

沿線地域の教育機関や企業と連携した独自の学習プログラムを提供することで、学習環境の向上に努めるとともに、子ども向けの学習イベントやワークショップを定期的に開催し、学びの楽しさを提供しています。

そのほかに学童保育や保育園事業も展開しており、子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援しています。

加えて、スポーツをはじめとした習い事教室や、英語やプログラミングの通信教育を提供しており、東急線沿線においてお子さまが色々なことに興味を持ってチャレンジし、学び、成長できる環境を整えています。

沿線学校との連携

BABY CHILD TEEN

当社は長期経営構想において「ひとづくり」をサステナブル重要テーマの一つとして掲げ、教育、文化、環境活動などを通じた社会におけるひとづくりの推進を通じて、未来に向けた美しい生活環境の創造に取り組んでいます。沿線学校と授業やイベント、ワークショップなどの連携を行っており、東急線沿線ならではの「まなびの場」を行政や地域の団体とともに提供しています。

たまプラーザにおける学校連携

2012年より当社と横浜市が協定を締結し多摩田園都市における持続可能なまちづくりを目指す「次世代郊外まちづくり」では、第1号モデル地区である「たまプラーザ駅北側地区」を中心に産学公民連携による多様な取り組みを推進しています。その一環として、まちづくりの活動を次世代につなげ担い手の育成を図るために、地域の小中高大と連携し「まちづくり」について考えるワークショップや総合授業などへの協力を行ってきました。
ほかにも「we love tamaplaza project※」が実施するイベントに近隣の小中学校に参加いただき、地域と連携した活動を通じて、若い世代へのまちづくり参画を推進しています。

※ たまプラーザ駅周辺の施設や地域の団体（連合自治会、商店会）と当社が協力して、街の繁栄と発展のため、必要な事業や関係者のコミュニケーション活動、コミュニティの形成などの支援を通した永続的、発展的なまちづくりを目的とするプロジェクト

渋谷区学校機関との連携による次世代教育支援

渋谷におけるサステナブルなまちづくりに向けて、渋谷エリアの小学校から大学までさまざまな学校機関と連携し、東急グループのまちづくりへの理解促進や次世代のプレイヤー発掘を目指します。
2024年度は渋谷区立神南小学校と連携し、授業支援、芸術祭出展作品の製作協力・展示などを行いました。

渋谷区立神南小学校での授業風景

北谷公園に展示された作品

詳しくはこちら ＞

Kids VALLEY

BABY CHILD TEEN

渋谷に拠点を構える当社、サイバーエージェント、DeNA、GMOインターネットグループ、MIXIの5社は、小中学校におけるプログラミング教育の必修化に伴い、渋谷区教育委員会と連携して渋谷区立小中学校のプログラミング教育を支援する「Kids VALLEY 未来の学びプロジェクト」を2019年から開始しました。

各社の社員が講師としてプログラミングや課題解決型学習（PBL）の授業を行い、渋谷発の官民連携による次世代教育モデルの確立と発展に取り組んでいます。

詳しくはこちら ＞

02 まなび応援

「まちづくり」をテーマにした探究学習の授業支援

BABY CHILD TEEN

2024年4月から渋谷区が区立の全小中学校において従来の総合的な学習の時間を年間70時間から約150時間に拡大する探究学習「シブヤ未来科」の取り組みをスタートしたことに合わせて、「まちづくり」をテーマとした探究学習の授業支援を開始しました。

当社はこれまで、交通・都市開発・生活サービス一体となった長期視点でのまちづくりを手掛け、お客さまの生活に密着したさまざまな事業を展開してきました。そのまちづくりの歴史をベースに、駅や商業施設、オフィス、多様なサービスなど幅広い事業やノウハウを持つ当社だからこそできるまちづくりのリアルな体験を含んだ授業プログラムを提供します。

また、東京都市大学グループの知見や東急キッズベースキャンプで培った「社会につながる人間力＝非認知能力」の育成に関するノウハウも本取り組みに活用します。

詳しくはこちら ＞

将棋教室ラボ

BABY CHILD TEEN

日本の伝統文化である将棋の棋力向上が「正解がない問いを、考える力」を鍛えるのに役立つという仮説を検証するため、当社、日本将棋連盟、日本入試センター・SAPIX小学部、東急キッズベースキャンプの4者が連携して、2024年10月に「将棋教室ラボ」を開校。授業やイベント、テストなどを通じて、短期間での将棋的思考の鍛錬が探究思考やプログラミング的思考を育むことにつながるか検証を進めています。

詳しくはこちら ＞

オンライン学習サービス「デキタス/デジタネ」

BABY CHILD TEEN

イッツ・コミュニケーションズ（イッツコム）は学びの提供を通じて、生活をより豊かにするためのワクワクするオンライン学習サービスを提供しています。塾講師監修のもと全国の小中学生の教科書に対応した「デキタス」や、ゲームを自宅で作って学ぶオンラインプログラミング「デジタネ」などを展開しています。

詳しくはこちら ＞

事業所内保育園

BABY CHILD TEEN

社員の子どもと地域の方のために、企業主導型の事業所内保育施設を運営しています。子育て中の社員がほかの社員同様の勤務シフトに加わる際の負担を減じ、鉄道や病院などの深夜・宿泊勤務を求められる社員をはじめとした社内の子育て世代社員の支援を図ります。

緑が丘エキナカ保育園

2017年に東急大井町線緑が丘駅の構内に開園した当社初の事業所内保育所です。改札を出ることなく保育所に子どもを預けることができ、通勤にも便利です。

奥沢エキチカ保育園

2019年に奥沢駅隣接の社宅内に開園した沿線2園目となる事業所内保育所です。園庭もあり、季節のお花や野菜を育てる活動なども行っています。

学童保育「キッズベースキャンプ」、KBCほいくえん

BABY CHILD TEEN

東急キッズベースキャンプは当社グループの子育て応援事業の中核企業として民間学童保育事業や未就学児保育事業などを展開しています。

キッズベースキャンプ

「キッズベースキャンプ」は学童保育システムを備えたアフタースクールであり、予測困難なこれからのVUCA時代の中で子どもたちが自分の人生を切り開くためにも、英語、農業体験、アート工作など多彩なプログラムを通して「社会につながる人間力＝非認知能力」を育むことを大事にしています。
総合的にバランスよくプログラムを提供している「キッズベースキャンプ」に加えて、知識活用型の学習機能を付加した「キッズベースキャンプα」、グローバル社会で活躍するための国際教育プログラムを加えた「キッズベースキャンプ∞」の3ブランドを展開しており、東急線沿線を中心に22店舗、2,000名を超える方にご利用いただいています。

詳しくはこちら ＞

小学生約 1,000 名が模擬店を運営し、一日限りの街をつくるイベント「KBC タウン」

KBCタウンとは、「大人のいる社会（よのなか）を学ぶ」キッズベースキャンプの代表的な年間イベントプログラム「キッズMBA」の集大成として、全22店舗の子どもたちが集まり、模擬店を開きひとつの街を作り上げるキッズベースキャンプ最大規模のイベントです。小学生約1,000名が模擬店を運営し、約4,000名の方に来場いただきました。
普段キッズベースキャンプに通う子どもたちがお店屋さんに扮し、キッズコーチと一緒にメニュー決めや看板作りを実施。売上目標を設定し店長・副店長・販促担当などの役割を決め、接客の練習などを行い当日に臨みます。
会場内では疑似通貨「ケビィ」を流通させ、子どもたちが保護者をはじめとする大人のお客さんを出迎えます。仕事を通じて、疑似通貨をもらい、買い物をするというリアルな経済体験をすることができるイベントです。

KBCほいくえん

「KBCほいくえん」は学童保育のパイオニアとして培ったノウハウを活かしたプログラムで、子どもたちの社会につながる人間力を育む保育園です。東急線沿線内に、企業主導型保育園を4園、小規模認可保育園を1園運営しており、約150名の方にご利用いただいております。
保育園を子どもたちにとっての初めての社会と捉え、保育士が子どもの安全基地となり、探索活動や友達との関わりを支援することで、社会性の発達を促していきます。

放課後児童クラブなど運営受託

総合的に保育・運営の質を高めることを志向される自治体の学童保育・児童館などの子育て支援事業へ向けて、他社にはない新たなご提案をしていきます。
東京都大田区の児童館や放課後ひろばを筆頭に、都内52施設（うち学童保育41施設）の運営を受託しており、約3,000名の方にご利用いただいています。
また、小学生だけでなく、中高生ひろばでは中学生以上の方にもご利用いただいています。

学校・学童・塾向け見守りサービス

BABY CHILD TEEN

東急セキュリティは学校や学童、塾などに通う子どもたちを見守るサービスを展開しています。「キッズセキュリティ・ミマモルメ」はICタグを持ったお子さまの校門通過情報や学童での入退室情報を保護者にお知らせするサービスです。学校やPTAからの連絡を保護者に配信する一斉メールサービスや、アプリ上で保護者がお子さまの欠席遅刻などを連絡できる機能を有し、保護者の利便性向上と教職員の業務負担軽減に貢献しており、東急線沿線内の公立小学校の3校に1校が導入しているほか、川崎市では全市立小・中学校が導入しております。

学校や法人など施設向けに提供している「キッズセキュリティ」は、塾や学校のエントランスに配置されたカードリーダにお子さまがPASMOやSuicaをタッチした際の通過情報を保護者にお知らせするサービスです。お子さまの防犯対策はもちろん、夕飯の支度や送り迎えの時間の目安などにも活用いただいています。

詳しくはこちら ＞

TSSキッズ事業

BABY CHILD TEEN

東急スポーツシステムは、日々の生活がより豊かに便利になるようなまちづくりを目指して、フィットネス、ゴルフ、テニス、スイミング、フットボールなどのスポーツをどなたでも楽しめる環境を提供しており、その一環としてお子さまの「ココロ」と「カラダ」をバランスよく育むキッズスクールを展開しています。

TSSキッズツアー

自然体験キャンプやスキーといった定番の宿泊イベントをはじめ、「非日常体験＋学び」をコンセプトとしたオリジナル企画や、当社グループならではの鉄道関連のツアーなど、年間20本以上のバラエティに富んだ企画でお子さまの成長をサポートします。

フットボール・フットサルチーム「東急Sレイエス FC」

「フットサルからサッカーへつなげる、フットサルからフットサルへつなげる」という育成モデルを日本で表現し続けていくために、スクールやユース・ジュニアユースを含むアカデミーからトップチームまでの一貫指導体制のもと、真の育成を目指していく地域密着型総合フットボールクラブです。

TSSキッズアカデミー あざみ野

1994年に営業を開始した「東急スイミングスクールあざみ野」を、最新の小学校学習指導要領に応じたさまざまなキッズプログラムを提供する新たなブランドに拡張し、「東急スイミングスクールあざみ野×TSSキッズアカデミーあざみ野」として2024年4月にグランドオープン。成人のお客さま向けのスクールとは運営する時間帯を分けるとともに、従来の「水泳」にプラスして「体操」「ストリートダンス」「プログラミング」などの提供を開始し、小学校の授業時間内では十分に学びきれなかった学習をサポートします。

主なプログラムと店舗数・利用者数

スイミング	3店舗	約4,500名
フィットネス	3店舗	約800名
フットボール	10店舗	約2,200名
テニス・ゴルフ	4店舗	約700名

「子ども専用送迎シャトルhab」で一人ひとりに合わせた送迎を実現

共働き世帯の増加により生じている「送り迎えの時間が確保できない」という課題に対して、習い事送迎に特化したMaaS「子ども専用送迎シャトルhab（ハブ）」の導入により、お子さま一人ひとりの乗降希望場所・時間に合わせて柔軟な送迎スケジュールでの運行を実現。保護者の送迎負担を軽減するとともに、お子さまの乗降時に通知が届くため、お子さまだけでも安心して通えます。

詳しくはこちら ＞

参考 東急グループの学校法人

BABY CHILD TEEN

学校法人 五島育英会

詳しくはこちら ＞

大学から幼稚園にいたる学校群の総力を結集し、時代や社会の要請に即して、より良い教育を実践すべく2009年に武蔵工業大学と東横学園女子短期大学を統合して「東京都市大学」を設立。同時に、付属校である高校から幼稚園も名称変更し、「東京都市大学グループ」が誕生しました。

東京都市大学グループ（五島育英会）の学校

- 東京都市大学
- 東京都市大学 付属中学校・高等学校
- 東京都市大学 等々力中学・高等学校
- 東京都市大学塩尻高等学校
- 東京都市大学付属小学校
- 東京都市大学二子幼稚園
- 東急自動車学校

学校法人 亜細亜学園

詳しくはこちら ＞

亜細亜学園は、アジアをはじめとする国際社会への貢献を目標として1941年に設立され、現在は亜細亜大学の運営を担っています。多様な留学制度や充実した課外活動支援体制の中、一人ひとりの個性を尊重し、社会の要請に対応した教育を通じて、国際社会とりわけアジアの発展に貢献できる人材を育成しています。